

## 小児慢性特定疾患登録管理システム V5 のアップデート方法

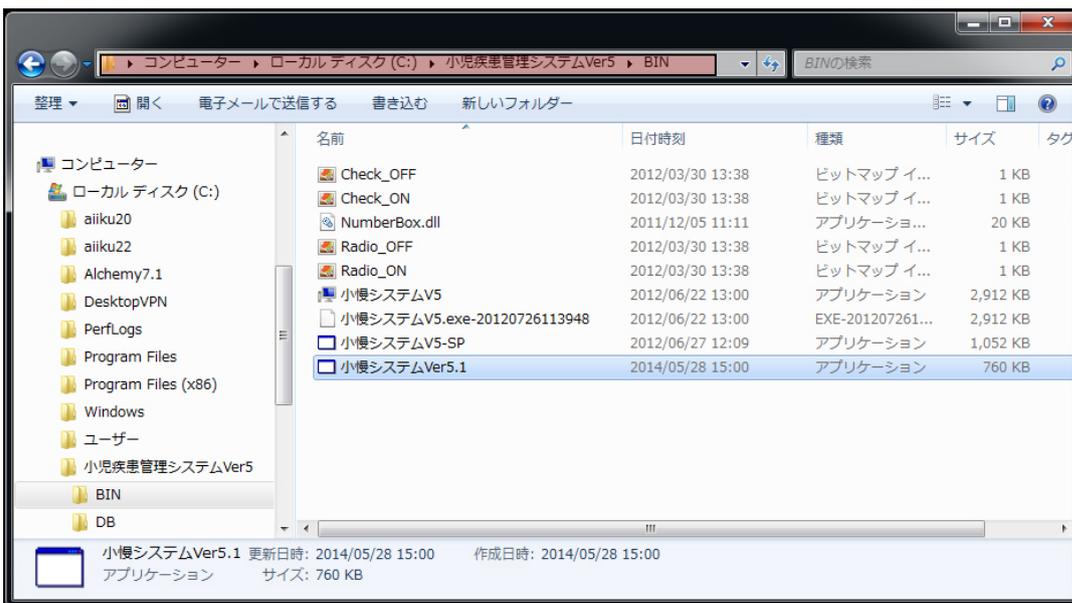
ここでは、小児慢性特定疾患登録管理システム V5 を ver5.0 から ver5.1 へバージョンアップする方法と、マスターデータを更新する方法について説明します。

まず初めに、小児慢性特定疾患登録管理システム V5 が実行されていないことを確認してください。実行中の場合はいったん処理を中断し、終了してください。

また、作業を行う前に「データベースバックアップ」機能で必ずデータのバックアップを取っておいてください。

### I 小児慢性特定疾患登録管理システム V5 を ver5.0 から ver5.1 へバージョンアップ

1. 小児慢性特定疾患の登録・管理システム ver5.0 がインストールされているフォルダに更新プログラム“小慢システム ver5.1”を保存します。既定値では C ドライブの“小児疾患管理システム Ver5”フォルダにインストールされていますので、その下の“BIN”フォルダに保存してください。



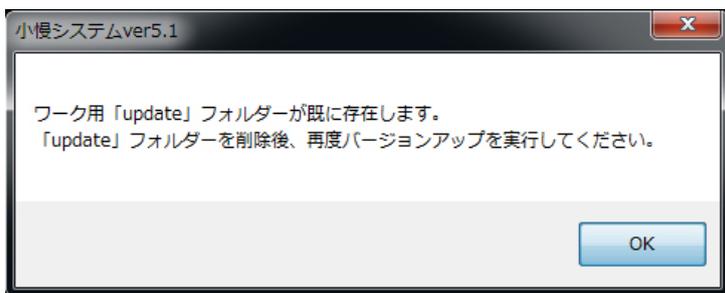
2. 更新プログラム“小慢システム ver5.1”を実行します。  
以下の画面が表示されますので、『起動します。』ボタンをクリックしてください。



3. 更新プログラムが実行されます。  
処理が正常に終了したことを確認してから、『OK』ボタンをクリックしてください。



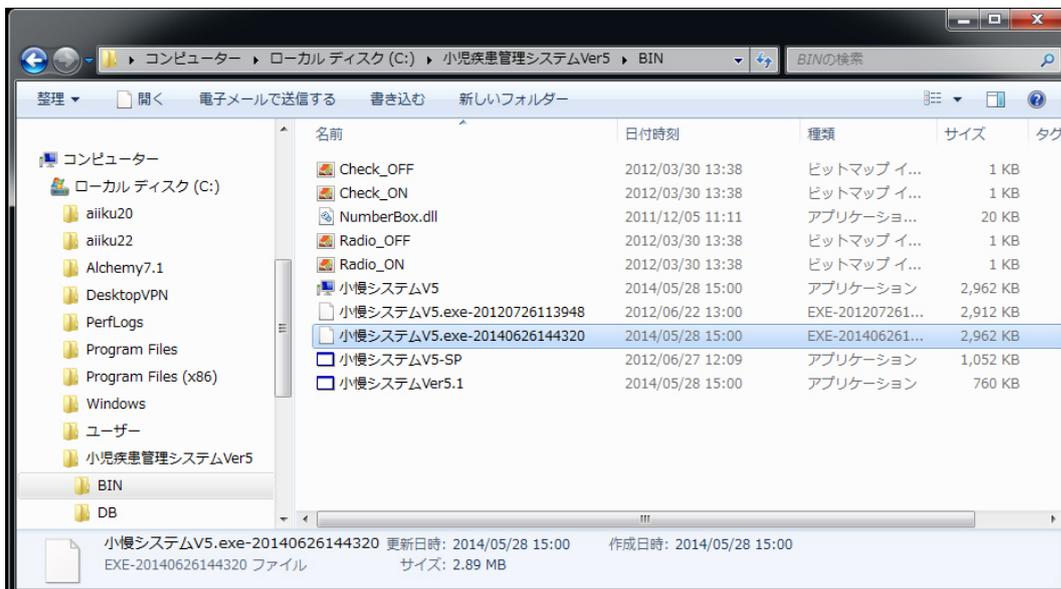
万が一、更新に失敗した場合は“update”フォルダが残ります。このフォルダが残っていると再度更新プログラムを実行したときにエラーとなりますので、実行前に削除してください。



また、小児慢性特定疾患登録管理システム V5 自体がインストールされていない場合は以下のエラーメッセージが表示されます。いったん作業を中止し、配布された CD よりインストールした後、あらためてバージョンアップの作業を行ってください。



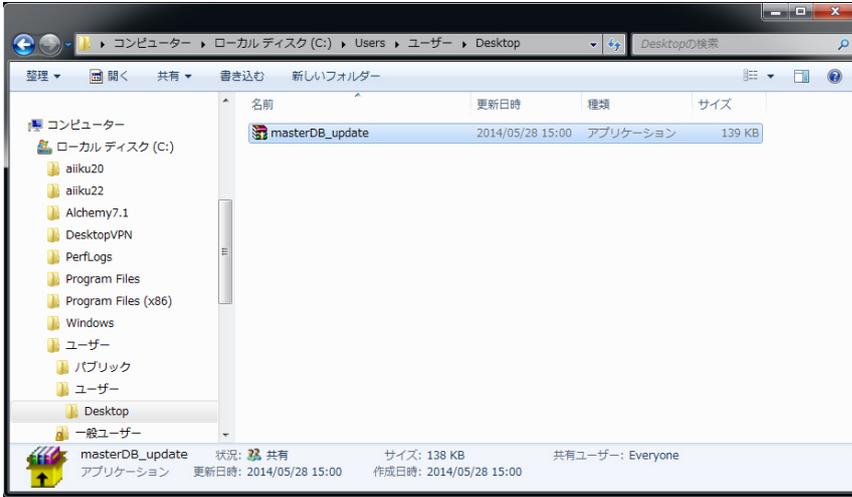
4. 正常に更新されていれば、以前のバージョンの実行モジュール “小慢システム V5” がリネームされてバックアップされています。yyyymmddhhmmss (yyyy:年、mm:月、dd:日、hh:時、mm:分、ss:秒) は更新プログラムが実行された日時を表します。



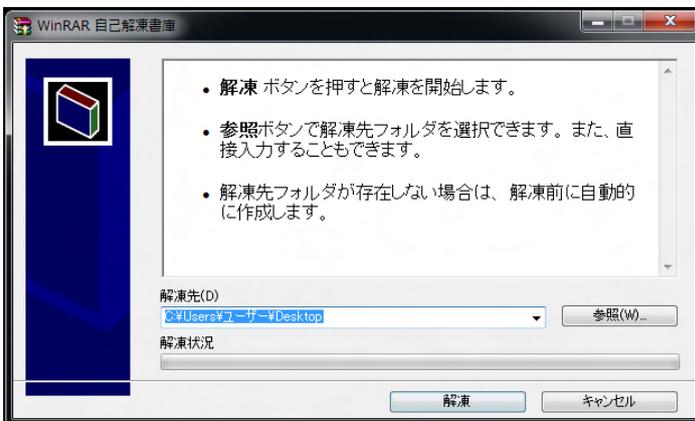
以上でバージョンアップは終了です。引き続きマスターデータの更新を行います。

## II マスターデータの更新

1. “masterDB\_update” を実行します。



解凍されるファイルは“masterDB\_update”が保存されているフォルダと同じ場所に解凍されますが、解凍先を変更することができます。なお、後ほど「システムマスター読込」時に指定する場所ですので、解凍先のフォルダはメモに残すなどして覚えておいてください。

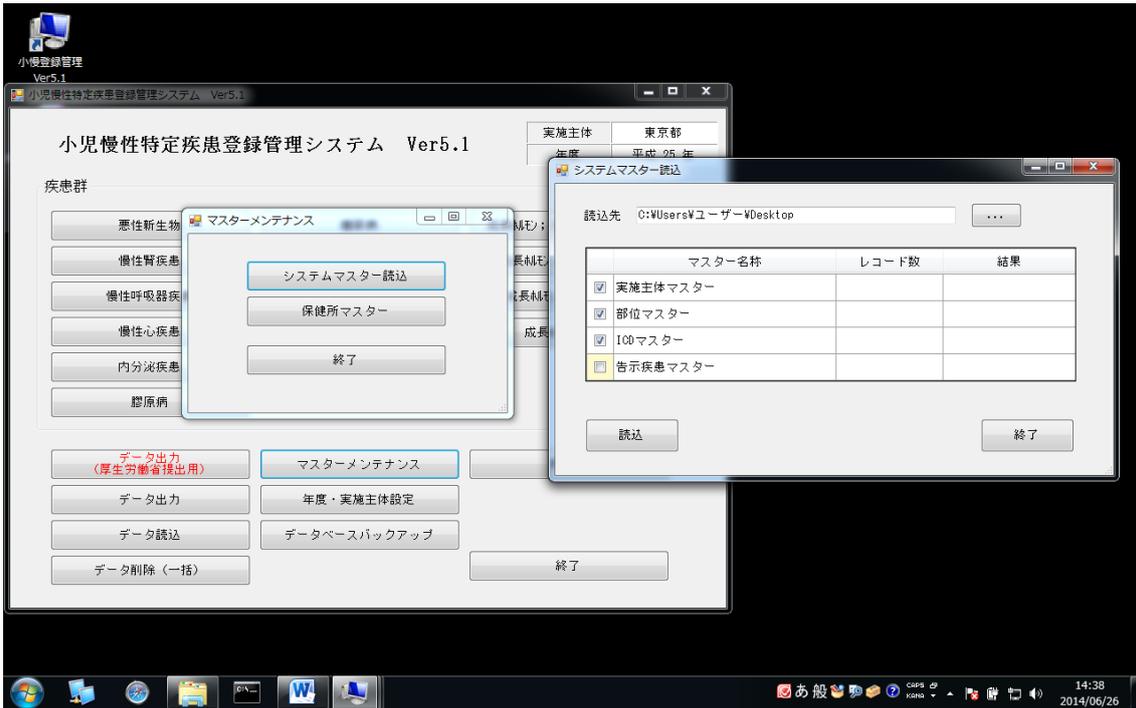


2. マスターデータの読み込み

メインメニューの「マスターメンテナンス」から「システムマスター読込」を選択してください。

1で解凍したフォルダを指定します。

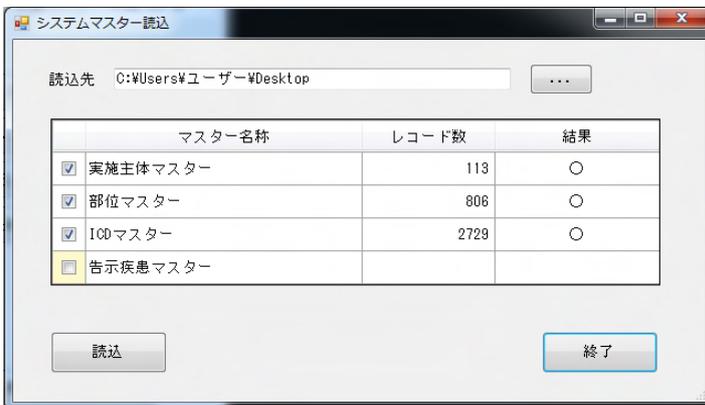
また、今回更新されるマスターは、実施主体マスター、部位マスターおよびICDマスターです。更新しない告示疾患マスターのチェックを外して、『読込』ボタンをクリックしてください。



『読込実行』 ボタンをクリックします。



正常に読み込まれると結果欄に“○”が表示されます。



※「マスターデータ読込」については、小児慢性特定疾患の登録・管理システム Ver5.0 操作説明書にも記載されていますので参考にしてください。

以上でマスターデータの更新作業は終了です。

I と II の作業が終了すれば、すべてのアップデート作業は完了です。

以上